

（1）第16回 第7次NACCS合同作業部会の 結果報告



2022年10月13日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. 第16回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
1	2	共通管理番号の番号紐づけ数拡大<2>	意見無し	提案の通り進めさせていただきます。
2	3	バンニング情報における輸出管理番号登録可能件数の拡大	(質問) (WG後) VAA入力で全件登録完了表示：Eの登録を忘れた場合、Eのみで追加登録できるのか？	可能です。 「コンテナ番号」と「全件登録完了表示：E」を入力して送信していただくこととなります。
3	4	貨物状況通知サービスの提供<3>	(質問) 第14回合同WGにて、入港日の変更時を通知契機に追加していただきたく、要望を出したが、検討結果はどうなったか。	資料10ページに記載のとおり、いただいたご要望については、検討の結果、更改時点では対応を見送ることとなりました。
4			(質問) 更改時点で対応が見送られた要望について、更改後には対応される予定という認識でよいか。	まずは、これまでにご提示した仕様にてリリースし、利用状況を勘案の上、対応可否を含めて検討いたしますので、必ずしも実現するとは限らないことをご了承ください。
5			(要望) (WG後) 同一企業だけでなく、NACCSを共同利用している企業も入力可能となるよう検討いただきたい。	利用契約上は共同利用の親子関係を管理しておりますが、システム上は親子関係の情報はありません。頂いたご要望は更改時点では対応を見送らせて頂き、更改後に改めて利用状況を勘案の上、対応可否を含めて検討させていただきます。
6			(要望) (WG後) 通知先利用者 ID、通知先端末名の枠が1つしかないので、枠を増やした方がいいのでは？	同じ貨物番号でも通知先利用者ID + 通知先論理端末名の組合せが異なる場合は、別の予約登録情報管理となりますので、改めて通知したい利用者ID + 通知先論理端末名で予約登録を行って頂きますようお願いいたします。

1. 第16回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
7	5	NACCSパッケージソフトのユーザーインターフェース改善<3>	（意見）（WG後） 非常に操作性が高まるので、ぜひ取り入れていただきたい。	ご意見ありがとうございます。 提案の通り進めさせていただきます。
8	6	ebMS処理方式の廃止 netNACCS処理方式の接続仕様公開<2>	意見無し	提案の通り進めさせていただきます。
9	7	不開港から不開港への船舶出入港に係る許可申請のシステム可能化	意見無し	提案の通り進めさせていただきます。
10	8	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	（要望） 特例輸入申告の納税申告時についても、納付方法の変更、引き落とし日の変更ができるようにしていただきたい。	対応可否を含め、検討いたします。
11			（要望） 直納の場合、担保の回復に日数を要するため、輸入者、通関業者に負担がかかっている。リアルタイム口座振替により納付を行った場合は、担保の回復は即座に行われる仕様にしていただきたい。	いただいたご意見を踏まえて、担保の回復タイミングについて検討いたします。 ※本資料 項番24にて回答いたします。
12			（質問） 管理資料の一括納付用明細書情報等で、リアルタイム口座により納付を行ったかどうか、識別できるようになるのか。	一括納付用明細書情報等に口座番号を出力する予定であり、その情報にて確認が可能となります。

1. 第16回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
13	8	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	(質問) 現行で利用している担保を引き続き利用できるという認識でよい か。	納期限延長用の担保であれば、ご利用可能です。
14			(質問) KZH業務の実施可能利用者について教えていただきたい。	基本的に申告者は実施可能としています。当該一括納付口座の名 義人である輸入者でも実施可能とするかについては、実施可否を含 め、検討いたします。
15			(質問) リアルタイム口座により納付を行う場合、IDA業務では、担保番 号を入力するとともに、納付方法「R」と口座番号を入力するの か。	ご認識の通りです。
16			(質問) 担保番号と口座番号の紐づけ設定はあるのか。	担保番号と口座番号の紐づけはありません。担保については、担保 を利用可能な輸入者等であるかをチェックし、口座番号については、 利用可能な輸入者または申告者の口座であるかを、それぞれチェック します。
17			(質問) 「納期限延長口座引落とし結果通知情報（仮）」は、申告者 へ出力されると記載があるが、一括納付書単位、輸入者単位の どちらで出力されるのか。	一括納付書単位で出力いたします。
18			(質問) 「納期限延長口座引落とし結果通知情報（仮）」は、EXC型、 EXZ型どちらで配信する予定なのか。	配信方法については、今後検討いたします。

1. 第16回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
19	8	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	(質問) KZH業務は代表通関業者も実施可能か。	口座振替の延納分は申告者のみに出力されるため、代表通関業者はKZH業務を実施できません。
20			(質問) 一括納付書情報の出力先として代表通関業者を設定した輸入者であっても、直納・MPN・リアルタイム口座振替が混在していた場合、直納・MPN分は代表通関業者、リアルタイム口座振替分は申告者と出力先が変わるといった認識でよいか。	ご認識の通りです。資料8、9ページ掲載の表の「出力先」列にて、「A」となっている帳票は必ず申告者に出力、「B」となっている帳票は事前設定で輸入者または代表通関業者に出力（設定がない場合は申告者に出力）といたします。
21			(質問) 資料5ページに「直納⇒リアルタイム口座振替への変更の場合のみ、税関の確認業務を設け、確認が終了しないと引き落とし処理が実行されない仕組みを設ける。（出力した納付書の処理は税関の指示に従う。）」と記載があるが、税関での確認完了時、通知はあるのか。	税関での確認完了時、利用者に通知するか否かについては、実施可否を含め、検討いたします。
22			(質問) ここでいう「税関」とは、申告官署の収納課という認識でよいか。	ご認識の通りです。
23			(質問) リアルタイム口座により納付を行う際、残高不足等で納期限日にエラーとなり、納期限日を過ぎてしまった場合、延滞税はかかるのか。	ご認識の通り、法令上の規定通り、納期限日を過ぎての納税の際には延滞税がかかる。
24			(要望) (WG後) 延納納付後の担保回復までのタイムラグ解消について 延納税金納付後、銀行から税関への納付連絡に時間を要しています。（数日程度）納付後ただちに担保金額が回復するような仕様をお願いします。	リアルタイム口座振替を利用した場合は口座引き落とし完了後、即時に納付情報が反映され、担保回復する仕様にするを想定しております。なお、直納を利用した場合は従前の通りとなりますので、ご承知おき下さい。

1. 第16回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
25	8	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	<p>（要望）（WG後）</p> <p>「納期限延長に係るリアルタイム口座対応」に関して、スライド7に記載の納期限日（自動引き落とし日）に口座残高不足で引き落としが完了しなかった場合に配信される「納期限延長口座引き落とし結果通知情報（仮）」は、自動引き落としが正常に完了した場合も残高不足で引き落としエラーとなった場合も同じ通知情報となっているが、残高不足で引き落としエラーとなった場合は、エラーの納付書情報を特定しやすくするために別の出力情報コードで配信してもらいたい。</p> <p>若しくは、通常のリアルタイム口座引き落とし時と同様に、納付書情報単位で別途リアルタイム口座振替完了通知情報や口座使用不可通知情報を受信するのでしょうか？</p>	対応可否を含め、検討いたします。
26			<p>（質問）（WG後）</p> <p>申告者の口座も利用可能とのことだが、誤って輸入者の延納担保+通関業者のリアルタイム口座の組み合わせで申告された場合、実質は立替の扱いになってしまう。担保差し入れ者（輸入者）以外のリアルタイム口座の入力が必要になるケースはあるのでしょうか？ 延納担保と申告者（通関業者）の口座の組み合わせは、エラーとなる仕様が望ましい。</p>	対応可否を含め、検討いたします。
27			<p>（質問）（WG後）</p> <p>KZH業務の実施単位を教えてください。（申告番号単位、輸入者単位、担保単位、など）</p>	KZH業務の実施単位は、一括納付書番号と受入科目の単位となります。

1. 第16回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
28			<p>（質問）（WG後） 現在は担保番号単位で管理帳票が出力されているが、担保番号+リアルタイム口座のケースとファイルは分かれるのか、もしくは1つのファイルの中で記載が分かれるのか？ 1つのファイルの中で記載が分かれる場合、それぞれのケースの合計件数などのSummaryは表示されるのか？</p>	<p>一括納付書明細書情報等の管理帳票は、担保登録番号に加え口座番号別に作成することを想定しているため、別のファイルとなります。</p>
29	8	納期限延長に係るリアルタイム口座対応	<p>（要望）（WG後） 議題8-(例2)包括納期限延長と個別納期限延長を利用した場合 ⇒1申告で複数納税方式がある場合に異なった納付方法が選択できなくなるのは非常に困る。 弊社では石油石炭税が課税される案件を扱っているが、石油石炭税は延納が出来ないため、関税消費税は包括延納、石油石炭税はリアルタイム口座振替をしている。 このような案件では業務上の手間が増えることもさることながら、システムの都合で納税者の資金繰りにも影響を及ぼす事態になりかねないのではないか。 現行のように1申告でも複数納税方式が選択できるよう、再検討いただきたい。</p>	<p>従来どおり、税目ごとに、即時に納付するか、納期限延長を利用するかは選択可能です。 ここで選択不可としているのは、即時に納付するものと納期限延長を利用するものについて、例えば片方は「リアルタイム口座振替」、片方は「直納」など違う納付方法を選択することですので、システムの都合で納期限延長制度が利用できなくなる仕様となることを意味しているものではございません。 頂いたご意見の例であれば、関税及び消費税の包括延長、石油石炭税の即納ともに納付方法を「リアルタイム口座振替」にいただければ利用可能です。 また、申告後に包括延長分を直納又はMPN納付に切り替えることも可能です。 （口座残高不足による引き落としエラー時に限らず、納付方法をリアルタイム口座振替から直納又はMPN納付に切り替え可能にすることを想定しております。）</p>
30			<p>（質問）（WG後） 「(8)納期限延長に係るリアルタイム口座対応」について質問させていただきます。(会議中に説明あり、聞き漏らしておりましたら申し訳ございません。) 資料P3以降の「3.次期仕様」中に「一括納付用明細書情報等」が「申告者へ出力」と記載されておりますが、第4回輸出入者業務SWGの議題「(2)納付書情報等出力先の改善」の通り、出力先を申告者ではなく代表通関業者とすることも可能という理解でよろしいでしょうか？</p>	<p>WGでご提示した案では申告者のみに出力することを想定しておりましたが、頂いたご意見を踏まえ、対応可否を含め、検討いたします。</p>

1. 第16回 第7次NACCS合同作業部会でのご意見

項番	議題	項目	意見・要望等	検討内容（回答）
31	9	機用品蔵入等承認申請の改善	意見無し	提案の通り進めさせていただきます。
32	10	航空貨物における仮陸揚関連業務の改善	（質問） 「仮陸揚貨物の「空港間運送」の可能化」について、保税運送には、既存のGOL01業務を利用するのか、新規業務を設けるのか決まっているのか。	保税運送について、どの業務を採用するかは検討中です。
33			（質問）（WG後） 資料の構成としては、全て仮陸貨物を前提としたものとなっておりますが、本邦向け貨物と仮陸貨物が一つのMAWBとして到着することも想定されます。このことも想定の上での検討という認識でありますか？ また、仮陸揚げ貨物の場合、通常、航空会社上屋での搬入処理となりますが、MAWB、並びに、HPKを実施する利用者コードは保税蔵置場を想定されておりますでしょうか？	<ul style="list-style-type: none"> ・1点目 ご認識のとおり、輸入貨物と仮陸揚貨物のHAWBが、一つのMAWBに紐づいている場合も想定しております。 ・2点目 ご質問の「仮陸揚げ貨物の場合、通常、航空会社上屋での搬入処理となります」についての運用は、ストレート仮陸揚貨物に対してGOL01（保税運送申告（一括））業務を行う場合の業務フローとなります。 混載仮陸貨物については、PKG業務・HPK業務を行う利用者コードは空港保税蔵置場を想定しており、これらの仕様は現行・次期で変更ありません。
34	-	その他	（要望）（WG後） 内容については特にありませんが、業種がC Yとなりますので議題のほとんどが日頃使用しない業務となります。可能であれば各議題がどの業種に関係するものかを議事次第にでも記載いただければ、社内報告の際も明確に案内が可能かと思われます。	業種数も多く、議事次第に各案件の関係業種を記載することは難しいため、案件名について、内容が把握しやすい案件名とするよう努めます。

別紙_WGへの検討課題提案状況を参照

3. サブワーキングの開催状況

別紙_サブワーキングの開催状況を参照